

いわて未来研 会報・情報誌

NPO 法人いわて未来政策・政経研究会会報 第 48 号(R4. 4. 29)

ご挨拶



会長 相原 正明

雪に押しつぶされていた枝からレンギョウの黄色の花が、地面からムスカリの紫の花が何事もなかったかのように顔を出しています。

その後いかがお過ごしでしたか。

常日頃のご協力、ご支援に感謝申し上げます。

12 年度目を迎えた昨年度は、新型コロナウイルス第 5 波、第 6 波にもまれ、二つの事業(市議

選立候補予定者政見を聴く会、親睦交流)の中止を余儀なくされました。ただし、会報 4 回発行、講演会 2 回は予定通り実施できました。

中止につきましてお詫び申し上げますとともに、この間のご理解・ご協力に改めて感謝いたします。

今年度は、講演会などの実施のほか基軸事業である会報を会報兼情報誌とし、愛称も定めながら一層の質的向上と内容の充実を図って参ります。

十年余にわたる会活動の成果を活かしながら、国や地域の発展に一層貢献してまいります。

会員皆様の益々のご高配・ご参画をお願いいたします。

いわて未来研



〒023-1131 岩手県奥州市江刺愛宕字橋本 119 番地

TEL 0197-35-2134 E-mail miraiken@pon.waiwai-net.ne.jp

FAX 0197-35-2134 URL <http://iwate-miraiken.sakura.ne.jp>

♥愛♠称♦の♣選♥定

前回会報で会報兼情報誌の愛称を募集したところですが、提案は 2 案に留まりました。

このため、3 月 25 日の理事会において当該 2 案を含めて下記 I の 6 案を提示し、理事・監事にそれぞれ一人 3 案を選んでいただき、その集計により高得点の三つの案を会員に提示することとしました。

その 3 案は下記 II のとおりです。この中から、

正会員の皆様には 6 月の総会における議案の賛否回答ハガキにより選んでいただき、賛助会員の皆様には往復ハガキにより選定いただき、最高得点のものを以て決定したいと思います。

I ①「みらい」②「MIRAI」③「みらい研」
④「MIRAIKEN」⑤「IMSSK」…インスク。会の名称のローマ字表記の頭文字から
⑥「FUKOST」…フコス。会の名称のラテン語表記の頭文字から

II I のうち、① ② ③ の 3 案

お知らせ



会の発展のため、加入促進方を宜しくお願いいたします。

R4. 4. 29 現在会員数

個人正会員(年会費 2 千円) 158 名
個人賛助会員(年会費 1 千円) 63 名
団体正会員(年会費 2 万円) 23 法人・事務所
団体賛助会員(年会費 1 万円) 2 法人
合計 246 名・法人

♡ ご寄附御礼 ♡

前回数報(第 47 号)で報告した以降の状況。
金額 20 千円(R3 年度寄附の累計 36 千円、R4 年度累計 2 千円)

—寄附者ご芳名—

佐藤 信治 様 (10)
神田 健幸 様 (5)
菅野 耕悦 様 (2)
佐藤 啓子 様 (2)
岩渕 正力 様 (1)
() 内は金額(千円)

お願いなど

ご提言募集

※ 第 10 回目となる行政機関、政党等への政策・意見提言活動を次により、実施します。

①4 月及び 7 月の会報で会員に呼びかけ、提言募集→②10 月の会報で中間報告→③11 月の理事会で提言内容と活動手順を確認し、マスコミ発表→④12 月～2 月に訪問や文書による提言行動

※ この会報に同封した用紙または適宜の方法により、是非お声をお寄せ下さい。

会の財政を支える会費につきまして、多大のご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。



会費納入
のお願い

THANK
YOU

未納の会員におかれましては、何とぞよろしくお願い申し上げます。



編集後記



日々心を痛めるロシアによるウクライナ侵攻問題を今次会報兼情報誌のどこで触れようかと考えていましたが、とうとう最後のこのコーナーになってしまいました。

21 世紀のこの時代、戦争の世紀とも呼ばれる 20 世紀の反省に立ち、国際協調と国際ルール・信義を重んずると思われる時代に、何と同一スラブ民族の隣国にさしたる理由も無しに攻め入るとは!!しかも昨日まで友人のようなウクライナの民間人への暴行・虐殺にまで至るとは!!

このような暴挙・愚挙の責任は国際社会において厳しく問われなければならないでしょう。また、単にプーチン大統領やロシアの問題に留まらず、独裁体制がもたらす弊害などの普遍的な問題として探求し、後世の戒めとしなければならないと思います。ウクライナの人々に心を寄せながら…。(相原)

